

次期愛知県地域保健医療計画策定における 2 次医療圏の設定について

1 第 1 回東三河北部圏域保健医療福祉推進会議について

(1) 概 要

第 1 回東三河北部圏域保健医療福祉推進会議（令和 4 年 10 月 7 日（金）開催、以下「第 1 回推進会議」という。）において、東三河北部医療圏の見直しについて意見聴取を行った。

＜国の次期医療計画作成指針の検討状況＞

既設の 2 次医療圏が、入院に係る医療を提供する一体の圏域として成り立っていない場合は、その見直しについて検討することとする。その基準は第 7 次医療計画における考え方を踏襲し、見直しを行わない場合においてはその理由（地理的条件、面積、交通アクセス等）を明記することとする。

（厚生労働省 令和 4 年 12 月 9 日「第 20 回第 8 次医療計画等に関する検討会」抜粋）

【第 7 次医療計画作成指針抜粋】

人口規模が 20 万人未満の 2 次医療圏については、入院に係る医療を提供する一体の区域として成り立っていないと考えられる場合（特に、流入入院患者割合が 20%未満であり、流出入院患者割合が 20%以上である場合）、その設定の見直しについて検討する。

＜ 2 次医療圏の状況＞

2 次 医 療 圏	人 口（人）	流 入 者	流 出 者	基 準 病 床 数 (H30～R5 年 度)	既 存 病 床 数 (R4.9.30 現 在)	そ の 他
名古屋・尾張中部	2,494,926	名古屋 21.2% 尾張中部 52.6% (19.4)	名古屋 16.2% 尾張中部 66.6% (16.0)	17,911 床	20,681 床	地域医療 構想区域、 老人福祉 圏 域、 障害保健 福祉圏域、 は、2 次 医療圏に 同じ
海 部	322,057	28.1% (28.8)	44.8% (41.7)	1,531 床	1,860 床	
尾 張 東 部	476,518	58.7% (56.9)	33.9% (34.6)	4,141 床	4,358 床	
尾 張 西 部	509,319	22.3% (20.1)	22.4% (17.3)	3,357 床	3,601 床	
尾 張 北 部	729,710	27.7% (25.2)	24.0% (21.6)	4,725 床	5,030 床	
知 多 半 島	622,067	11.9% (13.2)	32.5% (33.5)	3,147 床	3,188 床	
西 三 河 北 部	479,412	23.2% (16.1)	23.1% (20.8)	2,252 床	2,804 床	
西 三 河 南 部 東	425,464	19.7% (23.2)	28.6% (23.0)	2,083 床	2,477 床	
西 三 河 南 部 西	699,022	23.4% (23.8)	25.2% (24.2)	4,263 床	4,668 床	
東 三 河 北 部	50,743	16.0% (7.1)	56.2% (51.7)	229 床	417 床	
東 三 河 南 部	688,283	11.2% (11.0)	7.8% (8.2)	4,139 床	6,463 床	

※人口は、令和 4 年 10 月 1 日現在（愛知県県民文化局「あいちの人口」）
流出入患者の割合は、厚生労働省平成 29 年度患者調査（（）は令和 2 年度調査）

(2) 委員からの主な意見

東三河北部医療圏の見直しについて、「広大な面積の地域である」、「医療圏の統合によりへき地問題など地域の課題が埋没する」など反対意見が多数であった。（詳細は資料 1-2 参照）

2 医療提供体制に係る協議の必要性について

東三河北部医療圏は、多くの入院患者が東三河南部医療圏へ流出している状況である。地域住民に対して、適切な医療提供体制を構築するためには、**早急に流出入院患者が最も多い東三河南部医療圏と救急医療など医療提供体制に係る協議の場を設け、医療機関間の緊密な連携を図っていく必要がある。**

3 今後のスケジュール（予定）

第 2 回推進会議において、東三河北部医療圏の見直しについて、圏域の意見を取りまとめ、**令和 5 年 2 月 15 日開催の第 2 回医療審議会医療体制部会で次期医療計画における 2 次医療圏の設定について議題として提案を行う。**

< 2 次医療圏設定におけるスケジュール（予定） >

令和 5 年 1 月 23 日 第 2 回東三河北部圏域保健医療福祉推進会議
（圏域意見取りまとめ）
2 月 15 日 第 2 回医療審議会医療体制部会
（2 月 15 日 第 2 回東三河南部圏域保健医療福祉推進会議）
3 月 29 日 第 2 回医療審議会

< 現行の 2 次医療圏 >

